

こうふ未来創り重点戦略プロジェクト施策・事業に係る進捗状況等一覧（プロジェクト掲載順） ○平成28年6月末日現在

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※▶は、関連する施策・事業	概要	執行計画(平成27年6月現在)				主な実績等と今後の予定										所管部・課	
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成27年度	主な実績等	課題等	主な実績等に伴う事業名等	平成27年度実績額 (単位:千円)	平成28年度	平成28年度の予定	平成28年度に実施予定の事業名等	平成28年度予算額 (単位:千円)	平成29年度(予定)		平成30年度(予定)
26	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	中核市への移行	地方自治法の改正(注6)を踏まえ、地方分権の見える推進や一層の市民サービスの向上など機軸としての中核的な役割を担うため、平成31年4月の中核市移行に向けた取組を著実に推進する。 (注6)平成26年5月の地方自治法の改正により、人口要件などが緩和され、平成31年度までの間、本市も中核市への移行が可能となった。	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備・推進	準備	平成27年5月開催の庁議における「中核市行にあつての基本的な考え方」の了承以後、庁内には中核市移行推進本部をはじめ、行政部会や保健所設置部会において、また、県との関係においては、県・市協議会や幹事会、ワーキンググループにおいて、移行に向けた移譲事務や保健所のあり方等の協議を重ねた。なお、甲府広域圏内の市・町に対しては、市長の移行表明後、担当課長会議において中核市移行の説明を行った。 現在、各ワーキンググループにおいて県から提示された移譲事務の内容について、精力的に調整作業を進めているところである。また、保健所に関しては、福祉部を中心に県(福祉保健部・中北保健所)との詳細な協議を行っており、保健所設置基本構想(案)の策定に向けて精査している。 【経過】 ・平成27年5月14日:庁議において「中核市にあつての基本的な考え方」の了承 ・平成27年7月2日:第1回 甲府市中核市移行推進本部開催 ・平成27年8月10日:市長から県知事への協力要請 ・平成27年8月20日・24日:第1回 中核市移行内閣部会開催 ・平成27年8月28日:第1回 山梨県・甲府市(事前)幹事会開催 ・平成27年10月29日:第1回 山梨県・甲府市協議会開催	保健所設置に向けた取組をはじめ、県との人事交流など、スケジュールに沿った着実な取組を進めるとともに、本市が中核市になる意義を市民に周知していく。	経常 2-1-9 新事業形成費	451	準備	平成28年度は、庁内において中核市移行準備に伴う組織が整備されることから、より一層迅速かつ計画的に作業を進めると共に、市民等に対しての丁寧な周知・説明を行っている。	主要 2-1-9 中核市移行推進事業費 一般 4-1-1 保健所準備費	1,500 1,720	準備	準備	都市戦略室 中核市推進課 福祉保健部 保健所設置担当課長
27	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	人口減少対策の戦略的な推進	「甲府市人口減少対策戦略本部」による全庁的な取組を推進するとともに、国や県などと連携を図りながら、本市の人口減少対策に資する効果的な施策を戦略的に推進し、人口減少問題を克服する。	準備・実施	推進	推進	推進	実施	「甲府市人口減少対策戦略本部」において、「甲府市総合戦略」を平成28年3月に策定した。 ※第1回戦略会議(平成27年10月16日)、第2回戦略会議(平成28年2月19日)、第3回戦略会議(平成28年3月23日) ※検討会議(平成27年11月27日、平成28年1月25日、2月10日) ※検討会議(平成27年6月3日、平成28年1月21日、2月8日)	総合戦略に掲げた施策・事業の進行管理を著実に進め、人口減少対策に資する取組を積極的かつ効果的に進める。	経常 2-1-9 人口ビジョン総合戦略策定事業費 経常 2-1-9 新事業形成費	繰越明許費 8,277 1,188	推進	平成28年度以降は、この戦略に基づき、「甲府市人口減少対策戦略本部」が中心となり、人口減少対策を重点的かつ集中的に展開する。(戦略期間:平成31年度)	一般 2-1-9 新事業形成費 平成27年度補正 (こうふフューチャーサーチ) (加速化交付金)	240 繰越明許費 41,510	推進	推進	企画部 企画課
28	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	空き家対策の推進	管理不全な空き家や利活用可能な空き家への対策など総合的な対策を講じるとともに、山梨県が設置した空き家対策市町村連絡調整会議など県と連携した取組についても推進する。	準備・実施	推進	推進	推進	準備	「空き家対策の推進に関する特別措置法」や「国の空き家対策に係る基本方針」等を踏まえ、庁内に「甲府市空き家対策検討委員会」を立ち上げ、検討委員会内に設置した3つの部会において本市における空き家対策の基本的な方針や取組について検討を重ね、「空き家対策に係る基本計画(案)」を作成した。	「空き家対策に係る基本計画」を策定するとともに、各課の役割分担を明確化し、本市の空き家対策を効果的に進めていく。	経常 2-1-9 人口ビジョン・総合戦略策定事業費	繰越明許費 11	実施	今後は、「基本計画(案)」について、「(仮称)空き家対策条例」と併せて更に協議・検討を加え、早期の策定を目指して取り組んでいく。	—	—	推進	推進	企画部 企画課
29	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	移住・定住(1111ターン(注7))の促進	やまなし暮らし支援センターとの連携をはじめ、移住・定住相談員の設置や市内にある空き家等の有効活用など、首都圏を中心に地方での暮らしを希望する方々を受け入れるための取組を推進するとともに、IT企業などのサテライトオフィスの誘致も視野に入れた移住・定住人口の増加と地域経済の活性化を図る。 (注7)大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。一般に、1ターンとは都市等で生活している人が、単里に定住するといった意味である。また1ターンとは単里まで戻らず途中あるいは同じ県内の都市などへ移住すること。1ターンとは離れ以外の地方へ移住することをいう。	準備・実施	準備・実施	推進	推進	準備	市内に住所を有し、鉄道を利用して遠距離通勤をする者に対し、定期券購入費の一部を補助するための制度を構築し、平成28年4月から開始することとした。	制度の普及啓発に努めるとともに、制度の効果を検証していく。	—	—	実施	今後は、市ホームページや広報などに制度の内容を掲載するとともに、市内の大学に対してチラシの配布を行い、周知を図る。	一般 2-1-9 在来鉄道の利便性向上事業費	2,400	推進	推進	企画部 交通政策課
								実施	・平成27年8月3日より、市役所6階まちづくり課に移住・定住コンシェルジュを配置した。 ・平成27年8月に移住希望者向けブログ・フェイスブックの開設、動画・リーフレットを作成した。 ・平成27年9月6日に東京都東野町のやまなし暮らし支援センターにおいて「やまなし暮らしセミナー」を開催した。 ・平成27年9月13日に東京国際フォーラム展示ホールにおいて開催された「第11回ふるさと回帰フェア2015」に参加した。 ・平成27年11月15日に東京交通会館において開催された「3県(静岡・長野・山梨)合同セミナー」に参加した。 ・平成27年12月4日にやまなし暮らし支援センターにおいて開催された「第3回やまなし暮らしセミナー(山梨で働く!)」に参加した。 ・平成27年12月18日に移住・交流情報ガーデンにおいて開催された「地域の移住コンシェルジュ対談サイト」(対談相手は前橋市)に参加した。 ・平成28年1月17日にやまなし暮らし支援センターにおいて開催された「山梨県外国人向け移住相談会」に参加した。 ・平成28年2月2日に移住希望者向けホームページを開設した。 ・平成28年2月21日にウインクあいち1104会議室において開催された「山梨移住セミナー&相談会in名古屋」に参加した。	様々な移住・定住促進策を検証し、より効果的な手法を検討していく。	実施 2-1-9 移住・定住促進事業費	5,504	推進	今後も、引き続きやまなし暮らし支援センターと連携する中で、移住・定住施策を促進するとともに、サテライトオフィスの誘致も視野に入れた移住・定住施策等を検討していく。 また、東京都東野町の「やまなし暮らし支援センター」等との連携強化を図るとともに、引き続きセミナーの開催やフェア等への参加、新たな本市における体験型イベントの実施など、主に東京圏からの移住・定住を促進する。	主要 2-1-9 移住・定住促進事業費	6,180	推進	推進	企画部 地域振興課
30	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	「甲府大使(仮称)」の創設	首都圏広報チームの活動と連動し、甲府らしい特色のある「甲府大使(仮称)」を任命し、国内外に対して本市のプロモーションを効果的に展開することにより、甲府の認知度の向上や定住・交流人口の促進を図る。	準備・実施	推進	推進	推進	実施	・甲府大使を創設し、平成27年7月24日、第1弾として、スポーツ分野から佐藤優香選手、堀米勇輝選手に委嘱の交付を行った。また、ナゴヤドームにおいて、平成27年8月6日、高橋陽平選手に委嘱の交付を行った。 ・市ホームページに甲府大使のページを設け、3名の成績等を随時更新した。(3月7日現在 更新回数:46回) ・甲府大使として、堀米勇輝選手は、平成27年11月8日、甲府市立図書館で一日館長を行い、本市の認知度の向上やイメージアップを図った。 ・甲府大使として、佐藤優香選手は、平成27年12月8日、エフエム甲府のラジオ番組に出演し、本市の認知度の向上やイメージアップを図った。 ・平成28年3月30日に第2弾として、文化芸術分野から市川喜昇様、カリコリーナ、タリス、アーナ、スタチエンスカ様、鈴ノ木ユキ様に委嘱した。	甲府大使の効果的な活用策を検討し、本市のシティブロモーションの更なる推進を図る。	実施 2-1-9 シティブロモーション事業費	206	推進	今後は、引き続き、甲府大使に相応しい方に委嘱し、本市の認知度の向上や定住・交流人口の促進を図る。	主要 2-1-9 シティブロモーション事業費	836	推進	推進	都市戦略室 シティブロモーション課

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※>は、関連する施策・事業	概要	執行計画(平成27年6月現在)				主な実績等と今後の予定										所管部・課
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成27年度	主な実績等	期星等	主な実績等に伴う事業名等	平成27年度実績額 (単位:千円)	平成28年度	平成28年度の予定	平成28年度に実施予定の事業名等	平成28年度予算額 (単位:千円)	平成29年度(予定)	
31	(5) 「国や県とのネットワークを活かした市政」を創る	リニア開業に向けた関係団体とのネットワークの構築	山梨県・甲府市・中央市が一層密な連携をとれる体制を構築するため、「リニア駅周辺整備連絡調整会議(仮称)」を設置するとともに、リニア新駅設置都市との連携についても強化を図ることにより、事業を円滑に推進し、リニア開業の効果を最大限に享受する。	実施	推進	推進	推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「リニア駅周辺整備連絡調整会議」リニア駅周辺の整備に関する各種の施策や事業を一体的に展開していくため、関係行政機関の連携の下に整備方針を検討する場として、平成27年6月に設置し、随時協議を行った。平成28年1月から昭和町が参加することとなった。 ・構成自治体：山梨県、甲府市、中央市、昭和町 ※開催実績 会議及び幹事会(平成27年6月9日)、事務局会議(平成27年6月3日、平成27年6月22日、平成27年8月4日、11月27日、平成28年2月8日)、土地利用に係る打合せ会(平成28年3月15日) ・「リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会」リニア駅を核としたリニア時代のまちづくりの推進及びリニア中央新幹線建設工事への対応のための連絡調整等を図るとともに、地域間の連携を促めることを目的とし、平成28年2月に要綱を制定し組織化を図り、これまでの連携をさらに強化した。 ・構成自治体：相模原市、甲府市、飯田市、中津川市、名古屋市 ※開催実績(開催地) 平成27年5月28日(飯田市)、11月10日(中津川市)、平成28年2月9日(名古屋市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リニア駅周辺整備連絡調整会議」 今後、随時、協議や検討を行い、県や市町との連携を図っていく。 ・「リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会」 今後は、円滑な事業推進のため、情報共有や課題の検討、要望活動などを行っていく。 	経常 2-1-9 公共交通体系整備推進事業費	131	推進	一般 2-1-9 公共交通体系整備推進事業費	182	推進	推進	企画部 リニア政策課